

かたの瓦版

この時、交野は動いた

=元号でたどる交野⑩=

**大正** (1912-1926年) 大正天皇

◇「大正」のもととなった「大享以正、天之道也」とは「天が民の言葉を褒めて聞き入れ、政が正しく行われる」と言う意味だ。

・大正デモクラシーと関東大震災。

★大正元 (1912年) 星田新池および大谷新池築立工事完成

・交野郵便局電話交換事務開始

★大正三 (1914年) 獅子窟寺薬師如来像国宝に指定される。

・4月24日交野、星田の一部にはじめて電灯がつく

★大正七 (1918年) 交野地方にはじめて電灯つく。

・私部に太陽メリヤス工場できる。



東側から久池をはさんで



金沢泰治氏の銅像



就業時前のラジオ体操

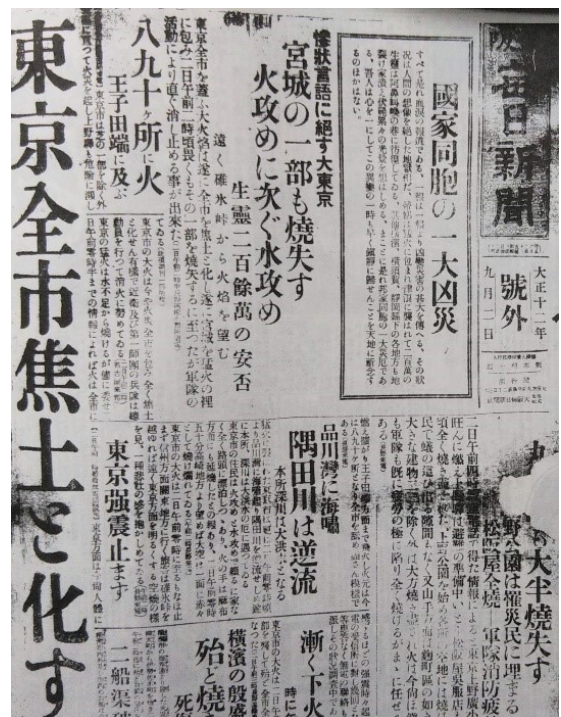
・神宮寺・寺村電灯つく。

・元田鉄道大臣片町線を視察する

★大正十一 (1922年) この頃星田に農民運動さかんとなり、小作と地主対立する。

・交野無尽金融株式会社として、金沢泰治氏によって設立された。金融機関の新社屋では、当時として大変モダンな建物で中世の城郭を思わせるような外観で、北東隅に3層の塔があり、外壁にはスクラッチタイルをはめ込んだモダン建築。設計施工は大林組によっておこなわれた。

◇大正十二 (1923年) 9月1日関東大震災





★大正十二（1923年）十月加賀田用水氾濫



加賀田用水改修記念碑

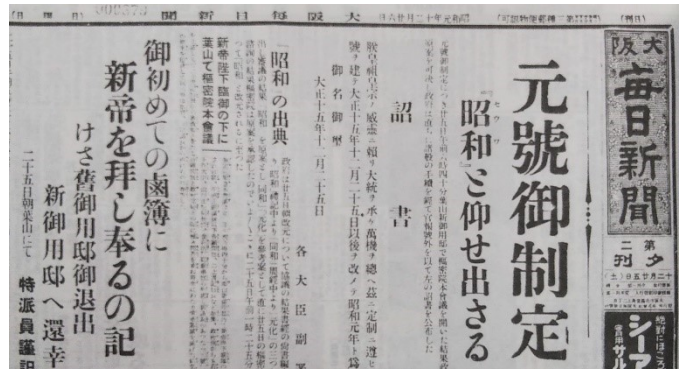


★大正十三（1924年）獅子窟寺は歴代史実行考査委員会により長慶天皇陵候補地として調査する(茨城県北茨城市一磯原町竹内経基家所蔵文書による)



河内名所図会・獅子窟寺

◇大正十五（1926年）十二月廿五日大正天皇崩御



◇昭和元年十二月二十六日掲載（大阪毎日）  
大正時代から昭和へ改元  
（参考資料）交野市史交野町略史復刻編より  
元号でたどる日本史（PHP）  
新聞紙面で見ると 100年の歩み

=了=

アルバム

★大正十二年交南尋常高等小学校

